



小豆 No.2

# 農 時 電 送

J A 新はこだて若松支店、J A きたひやま、J A 今金町  
 檜山農業改良普及センター檜山北部支所 TEL 84-5514

## 今後の防除について

小豆の生育は7月15日現在で平年対比±0日となっています。品種により前後しますが、開花始は平年並みと予想されます。(平年値7/29)

**\*開花始・・・開花した株がほ場全体の5%に達した時期**

- ☆炭そ病 : 6月下旬～7月に多湿条件が続くと多発  
 葉の裏面に赤くさびた様な病斑。葉が乾燥すると破れやすい。
- ☆灰色かび病 : 開花期以降の低温・多湿で多発  
 咲き終わった花に灰色のカビが付き、莢などにまん延。
- ☆菌核病 : 開花期以降の低温・多湿で多発  
 葉や茎に白い綿状のカビを生じ、黒色の菌核を形成。

### 1 主な病害の防除体系例

防除時期	対象病虫害	薬 剤 名	倍率	使用時期	回数
開花始の 7～10日後	菌核病	スミレックス水和剤	1,000	収穫21日前	2
	灰色かび病		2,000 1,000		
1回目の10日後	菌核病 灰色かび病 炭そ病	ファンタジスタ 顆粒水和剤	2,000	収穫7日前	3
2回目の10日後	菌核病 灰色かび病 炭そ病	プライア水和剤	1,000	収穫14日前	4

### 2 害虫の主な防除薬剤

＜食葉性チョウ目幼虫・アズキノメイガ（フキノメイガ）など＞

対象病虫害	系統	薬 剤 名	倍率	浸透移行	残効性	効果の特徴	使用時期	回数
ツメクサガ・ハダニ類 ・アズキノメイガ	有機リン	トクチオン乳剤	1,000	△	中	接触食毒	収穫30日前	2
マメシクイガ ・フキノメイガ		サイアノックス乳剤	1,000	△	短	卵	収穫21日前	2
アズキノメイガ	ジアミド	プロバツソフアブル5	4,000	△	長	接触食毒	収穫7日前	2

\*バイジット乳剤については、製造及びメーカーの販売は終了しています。

＜ハダニ：高温乾燥時に多発＞

対象病虫害	薬剤名	倍率	水量	使用時期	回数
ハダニ類	ピラニカEW	1,000 ～2,000	150～300 L	収穫7日前	<u>1</u>
	トクチオン乳剤	1,000	100～300 L	収穫30日前	2

\*ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布ムラがないように散布する。

○●農薬の適正使用・飛散防止に努めましょう●○